

平成28年度使用中学校用教科用図書の採択理由

種 目	出版社、教科用図書名	採択理由
国 語	光村図書出版株式会社 「国語」	全学年7単元と「文法/漢字に親しもう」「学習を広げる」で構成されている。「読むこと」では、「確認しよう」「読みを深めよう」「自分の考えをもとう」の3段階の課題を示し、「学習を振り返る」で学習の成果を確認させるようになっている。言語活動で身に付けた言葉の力を日常生活や社会生活で生かせるように「生活に生かす」「他教科に生かす」を設けている。
書 写	教育出版株式会社 「中学書写」	巻頭では、「書く目的」に合わせて「どんな力を身に付けるか」を示している。見開き2ページで、一つの作品の目標に沿った書き方について配置されており、筆先が写真で示されている。国語の教科書に掲載されている作品やレポート等の日常に役立つ作例を掲載し、国語や他教科との連携を図っている。また、「あの人が残した文字」として、歴史上の人物や文学者の肉筆を紹介している。
社会 (地理)	東京書籍株式会社 「新編 新しい社会 地理」	学習課題について本文・資料を用いることによって基礎的・基本的な知識・技能が習得できるようになっている。「地理スキル・アップ」「調査の達人」などで基礎的・基本的な技能を高め、章末のみんなで考えるページや「確認」などを利用し、思考力・判断力・表現力を高めるようになっている。
社会 (歴史)	東京書籍株式会社 「新編 新しい社会 歴史」	「私たち歴史探検隊」では「身近な地域の歴史」を調べる活動を通し、社会の形成者としての資質を養ったり、現代の事例を通して身近な地域の将来について提案する活動を設け、社会参画への意識を高めたりするよう配慮している。
社会 (公民)	東京書籍株式会社 「新編 新しい社会 公民」	学習課題に対して、本文、資料等によって基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、「確認」等でそれらを定着させるようにしている。また、個人やグループで行う作業や活動をまとめた「公民にチャレンジ」や調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付ける「調査の達人」、本文中の内容を詳しく説明したり、関連する内容を取り上げたりする「公民にアクセス」といったコーナーを設けることで、学習内容を深め、主体的に学習を進めるようになっている。

地 図	株式会社帝国書院 「中学校社会科地図」	「この地図帳の使い方」の「地図の要素」で読図の視点や地理的特色の追究方法を示し、読図の技能の習得が図れるようになっている。歴史的分野に関連する図も掲載されている。「やってみよう」を設けて、自然・都市・交通・文化・産業・歴史・環境などの地域的特色を理解させるようになっている。
数 学	株式会社新興出版社啓林館 「未来へひろがる数学」	「話し合う」「伝える」「まとめる」が各章ごとに設定されていて数学的活動を重視した構成となっている。また、日常生活との関連付けを図るために、別冊の MathNavi ブックを新設し、多様な生徒に対する個に応じた指導への対応も図られている。全体的に緑色を用い、落ち着いた印象になっている。
理 科	東京書籍株式会社 「新編 新しい科学」	単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」「確かめと応用 活用編」「学びを広げよう 自由研究」を示し、学習内容の確認をして理解の定着を図るとともに理科に対する興味関心がより深まる工夫をしている。
音楽 (一般)	株式会社教育芸術社 「中学生の音楽」	基礎的・基本的な学習の習得のための精選された教材を中心に構成されている。命の大切さ、思いやりの心等道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。
音楽 (器楽)	株式会社教育芸術社 「中学生の器楽」	「名曲スケッチ」では、各曲の解説とリコーダーで演奏する編曲が掲載されている。楽器ごとのページ数はリコーダー13、ギター8、三味線8、太鼓、打楽器4、篠笛、尺八2となっており、適正な割合で、表現と鑑賞の領域を横断する教材が示されている。
美 術	日本文教出版株式会社 「美術」	学習する領域を「表現」と「鑑賞」のページを独立して設定した構成となっている。生徒の発達の段階に合わせた主体的な活動を促すために8項目のマークを使い、学習のポイントや注意事項を示している。生徒が自己の3年間の成長が実感できるよう、自分―他者―社会といった広がりのある題材設定を示している。道徳と関連を持たせたり、日本の伝統文化、美術と社会、自然とのかかわりを見開きや紙質を変えるなどして、効果的に構成し、掲載している。

<p>保健 体育</p>	<p>東京書籍株式会社 「新編 新しい保健体育」</p>	<p>章の扉には、学習内容の系統性が明記されている。「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」という学習の道筋が見える構成になっている。章末に章末資料、確認の問題、活用の問題、学習のまとめ、自己評価の欄がある。資料が豊富であり、また読み取るための詳しい説明がある。</p>
<p>技術・家庭 (技術)</p>	<p>開隆堂出版株式会社 「技術・家庭(技術分野)」</p>	<p>それぞれの内容で「学習の目標」から「ふり返り」まで、まとまった構成がなされ、生徒が見通しを持ち主体的に学習できるようになっている。 見出しや表示等の工夫により、課題解決学習が展開しやすく工夫されている。安全に関わる内容が、実践の展開場面に合わせ示されている。「学習をふり返ろう」等により、基礎的な理解と技能を身につけながら、技術を適切に評価し活用する能力と態度をはぐくむことができる。</p>
<p>技術・家庭 (家庭)</p>	<p>開隆堂出版株式会社 「技術・家庭(家庭分野)」</p>	<p>ガイダンス、A(家族) B(食生活) C(衣・住生活) D(消費・環境)、「生活の課題と実践」の順に配列されている。「学習の目標」を明記し、学習のまとめごとに「ふり返り」欄を設け、自己評価できるようにしている。</p>
<p>英 語</p>	<p>東京書籍株式会社 「NEW HORIZON English Course」</p>	<p>Starting out、Dialog、Read &amp; Thinkの目的が明確で、重点的に4技能の学習ができる。特にRead &amp; Thinkでは「英語で」情報を得られる工夫がしてある。さらにActivity、Challenge、Daily Scene、Presentationで総合的に4技能を習得でき、自己表現活動が豊富で、英語の発信力を身につけることができる。</p>